

酒田市男女共同参画推進センター

No.84

ウィズ・レター



目次 ▼ウィズ講座募集▼市民フォーラムのお知らせ▼3講座報告▼男女共同参画社会づくり
功労者内閣総理大臣賞受賞者のお知らせ▼チェリアフェスティバル山形 2016のご案内

ウィズ講座
参加者募集

『整理&片づけ講座』

「楽に心地よく暮らすための仕組み作り、ものだけでなく、時間や情報、暮らしや人生までもを整えていこう。」という人生の見直し術の講座です。

- 日 時：10月15日（土）午後1時～3時
- 会 場：交流ひろば 研修室
- 講 師：奈良崎 由美子 さん（ライフオーガナイザー）
- 対 象：おおむね50代女性
- 定 員：30名
- 参加費：無料
- 申込み、問合せ：9月20日（火）から受付中 tel：0234（26）5616



市民フォーラムのお知らせ

平成28年度庄内地域男女共同参画講座
第19回酒田市男女共同参画推進市民フォーラム

中園 ミホ 講演会 『働くことは生きること』

- 日 時：11月26日（土）午後2時30分～4時
（開場：午後2時）
- 会 場：ひらたタウンセンター シアターOZ
- 内 容：講演 「働くことは生きること」
- 講 師：中園 ミホ さん（脚本家）
- 定 員：200名 程度
- 参加費：無料

※講演会等の募集受付や事業の詳細については、10/1号市広報やチラシ市ホームページにおいてお知らせします。



3 講座報告

■委託講座 ■ウィズ講座 ■学生向けデートDV講座

委託講座 身体に障がいを持つ（小児・成人）の家庭での生活を考える

7月3日（日）開催 講師：伊藤 聖さん（理学療法士）

委託団体：にじいろのたね

身体機能の維持・改善を目標に、障がい者に負担のかからないリハビリの仕方を、噛み砕いたわかりやすい表現で教えていただきました。伊藤先生は、子どもや保護者からの質問にも、その都度丁寧に対応してくださり、「障がいは個性。毎日をつらいと考えながら生活しても、楽しく生活しても、等しく時間は過ぎる。楽しく生活した方が楽しいに決まっている。」とお話しされました。伊藤先生が参加者を関西弁でイジルと、会場が笑いで包まれ、和やかな雰囲気の中、子どもたちからのお礼の言葉をもって閉会となりました。参加者からは、「話しを聞けば聞くほど奥深くすごく勉強になった。今まで表面的なことしか見てみませんでしたが、今日の話しを理解しながら子どもと接するだけで良い方に変わっていける気がした。」「前向きな気持ちになった。」「毎日、楽しく続けていきたいと思った。」等と感想が寄せられ、全参加者から「大変、良かった。」と評価していただきました。

講座を企画した「にじいろのたね」代表 榎本さんは、「子どもたち自身にも響いたことが多々あったようで、受講した子どもたちは自分でできることは自分でやろうと頑張っているようです。今後もこのようなセミナーを通じて、より多くの方たちから受講していただきたい。」と述べられました。



ウィズ講座 「家族で楽しむ!!アート体験」

7月23日（土）開催 講師：阿藤 淳一さん（7-Colors鶴岡ガラスアート工房代表）

昨年好評だった「親子で楽しむ! ガラスアート体験」の第二弾。6組の家族より参加していただきました。気さくな講師の指導のもと、皆さん楽しくアートしていました。

【体験】①マグカップに描くデザインを考え紙に下書きする。②マグカップに絵柄を黒の油性マジックで書く。③マジックで書いた黒い部分をルーターで削る。④削った所にポスカ（油性カラーペン）で色塗りする。（削った部分からはみ出してもよい。名前・言葉など一文字ずつ色を変えると楽しい。）⑤色づけした部分をペーパータオルで拭きとる。（ルーターで削った所だけ色が残り、文字・絵が浮き立つ。）⑥汚れたところをアルコールで拭いて完成。



◆今回の講座は、親子に限らず夫婦での参加も期待して家族を対象としましたが、申込者は親子のみとなりました。低学年の家族は、子どもの作品に親が手伝い大奮闘の様子でしたが、高学年の家族は、親の手も借りず完成することができ大満足の様子でした。親も子も集中して取り組み、完成品を手に満面の笑みで「楽しかった!」と、とても好評でした。終了後「もう2時間ぐらいやりたい」という声もありました。

H28年度 学生向けデートDV講座

「ステキな二人でいるために」

～デートDVのない恋をしよう～

講師：伊藤真知子さん（東北公益文科大学 教授）

男女共同参画社会づくりの一環として、深刻な社会問題にもなっているDVについて、高校生・専門学校生を対象に意識啓発を行い、知識の普及啓発と防止を目的とした講座を開催しました。今年度は、伊藤真知子先生を講師に、下記の三校で開催されました。

はじめに、伊藤先生から「今回の講座は、ひとことで言えば“尊重”がテーマです。」と、説明がありました。

- ・DVはとても身近な問題で、他人事だと思わないことが大切。
- ・DVというと、物理的・身体的な暴力を思い浮かべがちだが、精神的な暴力や言葉の暴力、また経済的暴力や性暴力、最近ではデジタル暴力も含む。
- ・暴力の原因は、怒りやストレスが原因ではない。

原因は、加害者に「この相手には、暴力を振るってもいい。」という認識があることだ。

最後に、「被害にあったら、信頼できる大人に相談しましょう。自分は暴力と思っていなくても、相手にとっては人権被害だったり、いやなことだったりするかもしれない。被害者も加害者もつづらないためには、相手を尊重することが大切です。」と、話されました。

講演後、開催学校から「今回の講話は、デートDVについての知識や現状など、どういう事が起きているのか、これから社会人になり結婚というステップに入る上で、生徒にとって大変価値のある講話だった。」等と、御礼の言葉をいただきました。

9月 1日（木）開催
共催：酒田西高等学校
参加者：570名（全校生徒）

9月 2日（金）開催
共催：酒田南高等学校
参加者：130名（一年生）

9月16日（金）開催
共催：酒田調理師専門学校
参加者：30名（新入生）



☆ アンケートにたくさんの感想が寄せられました

- ・尊重の気持ちを大切にしたいと思いました。
- ・この講義のおかげで「相手への尊重」についてよく知れてよかったと思う。自分も大人になってもしっかり尊重し合って生活していきたいと思う。
- ・相手にトラウマを残してしまうのは最低な行為だと思う。そうならない為にも相手を尊重し、その上で、自らの意見をはっきり言えることが大事だと思う。
- ・相手に言う言葉の一つ一つに責任を持ち、相手を傷つけないように注意していきたい。
- ・人にはトラウマを乗り越え向き合いながら成長していくレジリエンスがあるという言葉が印象に残りました。
- ・DVは怖いから、自分も周りの人も遭わないために、コミュニケーションを取ったりすることで、DVが起こるのを防いだりできると思った。
- ・「暴力を振るってはダメだ。」という正しい認識をする気づける人が増えてほしいと思いました。
- ・「尊重」がテーマで、とてもわかりやすく話が聞けてよかった。健全な関係ですっといられるように、今日のお話を生かしていきたいです。
- ・相手を不快な気持ちにさせない為にも、自分の行動を見直すべきだと思う。自分も気をつけたい。
- ・お互いを尊重し、対等で健全な関係を築くことが大事だと思う。

”おめでとうございます”

男女共同参画社会づくり功労者 内閣総理大臣表彰受賞

受賞者 伊藤 眞知子氏（東北公益文科大学 大学院公益学研究科長 教授）



山形県男女共同参画計画策定（平成23年3月策定及び平成28年3月策定）において、審議会の会長として県の男女共同参画を牽引され、男女共同参画の県民意識醸成に貢献されたことが認められ、受賞されました。今回の受賞は、県内で活躍する多くの女性にさらなる勇気と力を与えて下さいました。

チェリアフェスティバル山形2016

～ いいね！だれもが主役 ささえあう未来へ～

チェリアフェスティバルは、男女共同参画社会づくりを目指して活動している団体・グループの活動発表や県民の皆様との交流の場です。どなたでもお気軽にご参加ください。（参加無料）

◇開催日◇ 10月16日（日） 午前9時20分～午後4時

◇会場◇ 遊学館（山形市緑町1-2-36）

◇内容◇ ①平成28年度山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰及び活動発表
②講演会（要申込）

「男女共同参画と私たちの未来 ～意思決定の場に女性を～」

講師 白井 文氏（前尼崎市長・グンゼ株式会社社外取締役

一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事）

※お問い合わせ・お申し込み先（山形県男女共同参画センター「チェリア」tel023-629-7751）

➤詳しくは、山形県男女共同参画センターチェリアHP、チラシをご覧ください。

酒田市男女共同参画推進センター ウィズ

開館 月～土／9:00～22:00、日・祝／9:00～17:00

相談 月～金／9:00～16:00

〒998-0044 酒田市中町三丁目4-5 交流ひろば内

Tel／0234（26）5616 Fax／0234（26）5617

[E-mail／with@city.sakata.lg.jp](mailto:with@city.sakata.lg.jp)

★サポーター募集★ ウィズでは、男女共同参画の推進に関心・意欲のある方を募集しております。年数回の講座の企画・運営に参加してみませんか。男女共同参画に関する各情報をお届けします。

